

## 令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：長野県小県郡長和町

協定締結日：平成20年(2008年)11月25日

活動状況：継続中

連携先窓口：長和町役場産業振興課 農政係長 三浦傑様

活動資金：大学予算

担当教員(所属)：菅沼圭輔(食料環境経済学科)

活動体制(単位)：学科

関連教員(所属)：

「食料環境経済学科山村再生プロジェクト検討委員会」

金田憲和(食料環境経済学科)、竹内重吉(食料環境経済学科)、

寺内光宏(食料環境経済学科)、堀部 篤(食料環境経済学科)、

中窪啓介(食料環境経済学科)、佐藤みずほ(食料環境経済学科)、

長尾真弓(食料環境経済学科)

活動目的：

プロジェクトの名称は「山村再生プロジェクト」。2008年に文部科学省の教育GPの補助事業に採択され、長野県長和町と東京農業大学の連携協定の下で、長和町をフィールドとして地域振興に関わる実学教育を行うことを目的としているプロジェクトである。

2022年度は2022年5月から2023年2月までの7回の現地実習を中心にのべ190名の活動を行うことを計画した。

2022年度の主な活動計画は以下のとおりである。

### 1. 特産品開発

「長和のトマト」事業化計画(22,23年度2か年計画の一年目)「長和のトマト」のビジネスとしての可能性について実践と調査を行い、町に報告書を提出する。

### 2. 観光宣伝素材作成

ペンションパンフレット作成(22,23年度2か年計画の一年目)長和町のペンション取材を行い、実務家のアドバイスを受けながら、宣伝素材の選択(パンフレットやSNS等)も含めて検討し、公表する。

### 3. 次期プロジェクトの準備

次期計画作成のために、地域貢献につながる事業策定のための準備的な調査や体験を行っていく。今期の計画の継続・発展も含む。

- (1)長和町マルシェ（町の物産の販売活動）：長和町の商品を東京で売ることによる長和町の知名度向上と、新たな魅力の発見
- (2)長和町物産のインターネット販売
- (3)長和町観光ツアーの企画立案

活動内容・成果：

2022年度は下記の2022年5月から2023年2月までの7回の現地実習を中心にのべ174名の活動を行った。

活動計画の主な実施状況は以下のとおりである。

#### 1. 特産品開発：「長和のトマト」事業化計画

新型コロナ感染拡大を受けて2年間中断していた「長和のトマト」作り（トマトソース加工）を8月19日（金）～21日（日）及び9月2日（金）～5日（月）の2回の実習において実施した。実習では町内加工用トマト生産農家の圃場での収穫、選別及び町施設でのトマトソース加工を行った。加工実習は長野県立丸子修学館高校食品科の教員・生徒と共同で行った。

実習に際して学生は食品衛生及び食品表示法に関する学習を行った。

#### 2. 観光宣伝素材作成：ペンションパンフレット作成

長和町内の10軒のペンション取材を行いパンフレットの作成を行った。パンフレットにはペンションを中心とした長和町観光ツアーの提案のページを設けた。2023年度において印刷し配布する予定である。

#### 3. 次期プロジェクト計画準備：

##### (1)長和町マルシェ（町の物産の販売活動）

長和町の農業の6次産業化を担う鷹山ファミリー牧場(5月13日)、緑の花そば館(5月15日)、栗島晋作氏（6月13日）、オードリーファーム（6月11日）を訪問取材した。その上で、「長和のトマト」に加え上記企業家による長和町の商品を農大世田谷キャンパス朝市、収穫祭、農大グリーンアカデミー、中野マルイのイベントで行った。

##### (2)長和町物産のインターネット販売

長和町マルシェで扱ったものと同じ商品を(株)農大サポートの指導を受けてネットでの試験販売を行った。

課題・改善点：

12月9日に学生による活動報告会（リモート開催）を行い、長和町の役場関係者、企業家さらに(株)農大サポート、中野マルイが参加した。

(1)「長和のトマト」作り作業と並行して学生が食品衛生や食品表示について学習したことが評価された。また、「伝承の味を引き継ぐ」ことと同時に独自の味を出しても良いのではないか、販売において「学生の手作り」を強調することが重要ではないかといった意見があった。

(2) SNS を利用した発信について高い評価を得られた。

(3) 多くの活動を行っていることに高い評価を得たが、山村再生プロジェクト全体としては何を目指しているのか明確にしてほしいとの意見が複数あった。本プロジェクトとしては、プロジェクトの年度方針と中期的な方向性を明確にすることが課題として得られた。

2022年度はコロナ禍からの活動再開期であり、地域住民と直接触れ合う機会も限られていた。2022年度に築かれた町内の実務家、企業家との関係を継続する中でそこを切り口として地域住民（農家）との交流を進めることが課題となっている。

以上



キャプション：芹澤圃場での除草作業

ファイル名：令和4年度写真1「芹澤圃場での除草作業」.HEIC



キャプション：長和のトマト加工作業

ファイル名：令和4年度写真2「長和のトマト加工作業」.JPG



キャプション：収穫祭の即売店活動

ファイル名：令和4年度写真3「収穫祭の即売店活動」.jpg



キャプション：中野マルイの出張マルシェ

ファイル名：令和4年度写真4「中野マルイの出張マルシェ」.JPG